

学校名 熊谷市立星宮小学校

所在地 熊谷市池上733

電話 048-525-4550

1 本校の概要

本校は、昭和30年に開校。学校教育目標「自らとにも多くを学び 心をみがき 体をきたえる子」の育成のため学校・家庭・地域が一体となって、未来を担う子供たちを育てている。5学級、53名の小規模校である。今年度で閉校となる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書の習慣化に努めるとともに、活字文化への興味・関心を高めることをねらいとしている。

ア チャレンジ読書

1・2年生 100冊、3・4年生 2,000ページ、5・6年生 4,000ページという読書達成目標を示し、読んだ本の題名と冊数・ページ数を「読書記録カード」に記入していく。学年末には毎年同じファイルに1年分の読書記録カードを綴り、卒業時には小学校6年間の読書量をファイルの重みや厚みなどで実感できるようにしている。また、目標を達成した児童には「チャレンジ読書達成賞」を設け、表彰している。

イ 読書月間

6・11月を読書月間とし、1・2年生 8冊、3・4年生 400ページ、5・6年生 750ページを目標として、読書量を増やすことを目指す。この期間に読んだ本はチャレンジ読書とは別の記録カードに記入する。学校図書館に全員分掲示し、意識化を図る。

ウ 全校一斉読書

年5回、学校図書館にて全校児童が集まり15分間読書を行う。小規模校ならではの取組



である。コロナ禍のため今年度は、読書月間中に1回ずつ、各教室にて行った。

エ 6年生による読み聞かせ

2月のたてわり班活動で行っている。6年生が絵本を選び、読み聞かせの後、下級生全員が感想を述べる。本に親しむとともに本を介しての児童同士の交流の場となっている。

オ おはなしの会「虹」による読み聞かせ

「本とのふれあい事業」として地域のボランティア団体によるお話をしている。低学年3回、中学年2回、高学年1回に分けて実施している。



カ 学校図書館の環境整備

学校図書館の入り口から室内には、学校図書館補助員の作成した課題図書を紹介、季節に応じた掲示物を掲示している。中でも「新聞を読もう!」では、4・5・6年生を対象に児童向けの新聞で気に入った記事への投票を行い、児童が学校図書館に立ち寄るきっかけになるよう工夫している。

また、常時「読書感想文」「読書感想画」を掲示し、興味・関心を高めるだけでなく、来年度の参考にもなっている。



さらに、「調べ学習コーナー」に机を置き、その場で記入できるようにしている。「国語の教科書にのっている本コーナー」を設け国語の学習との関連読書をしやすくしている。

3 成果と今後の課題

様々な取組により、学校図書館の利用が増え、読書量が増加した児童が増えた。反面、学校図書館を利用する児童にかたよりが感じられるため、定期的な学級文庫の入れ替えや、学級単位での学校図書館利用の推奨に努め、読書の質の向上に繋げていきたい。そして、毎年の活動を見直ししながら、児童の読書習慣や読書に対する関心が高まるように読書環境の整備を充実させることに努めたい。今後も読書が児童一人ひとりの豊かな心の育成と確かな学力の向上に繋がることを願う。